

令和 6 年度

木祖村社会福祉協議会事業計画



社会福祉法人

木祖村社会福祉協議会

—令和 6 年度木祖村社会福祉協議会事業計画—

1. 基本方針

木祖村では高齢化が進行し高齢化率も 44%を超える状況となっております。高齢者人口は減少傾向であるが、高齢者世帯数の一般世帯数に占める割合は 70%を超え郡内で最も高い状況であるなど福祉課題も多岐にわたっています。

木祖村社会福祉協議会では「思いやりのところで共生と協働の地域づくり」を理念として、役職員一丸となって住民同士がともに支え合い、ともに助け合える環境づくりに努力し、誰もが安全で安心して暮らすことのできる地域づくりを目指します。

また、行政機関や関係団体との連携を密にして、変化する地域の福祉課題を的確に捉え、住民参加の住みよい地域社会の実現に向け、地域住民の福祉の向上を図ります。

2. 主な事業の概要

1) 法人の運営

財政の安定化と職員の資質の向上を目指します。

2) 地域福祉事業

住民の支え合いを基本とした、地域福祉の充実を目指します。

3) 介護保険事業

介護保険法の趣旨を踏まえた、より細かな利用者ニーズに沿った居宅サービスを推進します。

4) 障害者支援事業

相談体制の充実を図りつつ、在宅障害者を支援します。

3. 具体的な事業

1) 法人運営と企画調整

①理事会、評議員会の開催

- ・理事会（年5回）、評議員会（年3回）を開催予定

②人事・労務管理、財産管理、一般庶務の遂行

③苦情、要望等の処理体制の充実

- ・苦情解決のための第三者委員会の開催及び研修会への参加
- ・要望、苦情受付及び処理体制の充実

④職員のスキルアップのための研修活動の推進

⑤新型コロナウイルス等感染症予防、拡大防止に向けた対策

⑥福祉充実計画遂行に向けた調査研究と体制強化

⑦虐待防止、身体拘束適正化の更なる推進

- ・職員研修の実施
- ・虐待防止、身体拘束適正化委員会を設置し、検討結果を職員で共有
- ・虐待防止、身体拘束適正化のため責任者を配置

2) 調査、研究、広報、啓発活動の推進

①「木祖村住民のつどい」の開催

②社協だより「まめのわ通信」、ボランティアセンターだより「ひよこ」の発行など情報提供と住民意識の啓発

③「災害時住民支え合いマップ」の見直し作業の継続

④住民福祉ニーズの調査研究

⑤感染症蔓延時や災害発生時に継続的で安定した介護サービスの提供に向けた体制強化と計画づくり及び研修、訓練の実施

3) 地域福祉活動の推進

①木祖村から生活支援体制整備事業を受託するなかで、生活支援コーディネーターを配置し地域に不足するサービス・支援の創出と担い手の養成及び講演会等の開催

②生活困窮者自立支援事業への協力

・関係機関との連携により、「まいさぼ木曾」出張所として生活困窮者等相談者の相談受付と対応や支援活動

③ボランティア登録とボランティア活動をはじめとする住民支え合い活動の推進

④団体・グループ・サークル等の活動支援

・一品つくろうかい・各地区開催のいきいきサロン・すずめ塾など支援を行う

⑤講演会、各種研修会、体験講座等を通じたボランティアへの意識啓発

⑥小学校・中学校の児童生徒のボランティア、福祉活動の啓発

・「あったか弁当」の表紙作り 「友愛手紙サービス」の活動など

⑦福祉サービス利用手続きや金銭管理の支援を目的とした「日常生活自立支援事業」を県社協、基幹社協と連携して実施

⑧感染症蔓延時においても人と人との繋がりを絶やさないよう感染予防に配慮し、事業の継続や展開、活動支援の実施

4) 各種団体への協力と連携

①民生児童委員協議会との連携強化

②老人クラブ、遺族会、人権擁護委員、行政相談員、保護司会、更生保護女性会など福祉関係団体への協力と連携

③地域自治協議会、各自治会への支援と連携

④小学校・中学校や公民館など教育関係団体等との連携

5) 介護保険事業の実施

介護保険制度のもと、利用者やその家族のニーズに沿ったよりきめ細かな居宅サービスを推進するため、次の介護サービスを実施します。

・訪問介護 ・介護予防訪問介護	要介護者及び要支援者宅にホームヘルパーを派遣して、身体介護や生活援助を行います。
・居宅介護支援	介護サービス利用希望の要介護者に対して、居宅サービス計画を作成し、相談や支援を行います。 介護予防支援業務については、木祖村地域包括支援センターより受託します。

6) 障がい福祉サービス事業の実施

①居宅介護・重度訪問サービス事業（相談支援事業所）

障がい者の多様なニーズに沿った居宅サービスを提供するとともに、関係機関と連携し、自立を支援するために介護や生活の援助を行います。

②生活サポート事業

総合支援法に基づき木祖村などと連携して、障がい者やその家族がサービスを有効に利用できるよう支援計画に沿って、在宅障がい者の福祉サービス利用を支援します。

7) 子育て支援事業

家事育児支援に訪問介護員を派遣します。

8) 木祖村社協独自事業（高齢者等の支援事業）

安否確認	75 歳以上の独居高齢者世帯に、月に 1 回声かけ訪問や安否確認などを行います。
配食サービス	70 歳以上の希望される独居、高齢者世帯、障がい者の方、包括から栄養改善が必要である方を対象に、ボランティアの協力により、手作りお弁当を毎週木曜日の昼食に配達します。また、今年度中に週 2 回実施に向け検討し、実行していきます。 毎日型配食では、月曜から金曜日（祝日を除く）の夕方に、市販の冷凍の調理済みのおかずを配達します。
ミニデイサービス （てまりの会）	65 歳以上の方を対象に、「幸せテラスまめのわ」で毎週月・木曜日に、生きがいや楽しみを目的にミニデイサービスを実施します。
寝具乾燥サービス	70 歳以上の独居、高齢者世帯で布団等をクリーニングした場合に、費用の半額を補助します。
軽度生活支援事業	65 歳以上の独居、高齢者世帯で、日常生活上、一時的に支援が必要な方に介護保険の対象とならないサービスを行います。（買物や処方箋の受取・簡単な調理・ゴミ出しや電球交換など援助を行います。）

福祉有償運送事業 (令和 3 年度認可 更新済)	介護保険法に規定する要介護・要支援認定者、法に規定する身体障がい者・その他の障がい（内部・知的・精神・その他）を有している方で、他者の介助によらずに移動が困難で、かつ単独で福祉タクシー等の公共交通機関を利用することが困難な方で事前に登録された方を対象に有料移送を行います。
移送サービス事業 (福祉車両の貸出)	身体状況により、歩行が困難な方や福祉タクシーを利用できない方などの移動支援として車椅子で移動できる福祉車両等を無料で貸出します。また、福祉タクシーの利用券の販売を行います。
高齢者世帯等の除雪支援事業	自力で除雪のできない希望された高齢者世帯等については、日常生活範囲内の除雪を、登録した協力員さんが支援を行います。
福祉用具等貸出事業	車椅子やスロープなど社協が保有する福祉用具等を無料で貸し出します。 (短期間利用に限る)

9)相談事業等

- ①多様な社会経済や、様々な人間関係の中で発生するトラブルや心配ごとについて相談を受けるため、「心配ごと相談所」を開設します。
概ね 2 ヶ月に 1 回(偶数月)、「幸せテラスまめのわ内」で行います。
人権相談、行政相談所を併せて開設します。
・とき 4 月 16 日、6 月 11 日、10 月 15 日、12 月 10 日、
2 月 4 日、いずれも火曜日に開所を予定しています。
・場所 幸せテラスまめのわ（相談室） 午前 10 時から 12 時
- ②法律の専門家である弁護士による無料法律相談所を開設します。
(5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月、年 6 回を予定)
・場所 幸せテラスまめのわ（相談室） 午前 10 時から 12 時
- ③生活福祉資金等貸付事業及び特例貸付等借受人の生活課題の把握や支援体制整備を強化します。(長野県社会福祉協議会貸付事業)
- ④しあわせ安心自立サポート事業は日常生活における金銭管理等の相談を行います。

10)募金活動の推進

県本部や行政機関と協力して、次の活動支援金と募金を実施します。

赤十字活動 資金の募集	<p>日赤長野県支部を通じて「人道」に基づき、国際活動や災害救護のため、毎年5月を運動月間として活動資金の募集を行う。また、国内外で発生した大規模災害の救護救援のための義援金の募集を行います。</p> <p>目標額 350,000 円</p>
共同募金	<p>長野県共同募金会を通じて、社会連帯・相互扶助の精神に基づいた地域住民の自主的活動として実施する。歳末助け合い募金とあわせ、毎年10月から年末にかけて募金を行います。</p> <p>目標額 750,000 円（社協への配分金約80%）</p> <p>募金会の各種制度事業を活用して安心・安全なまちづくりを推進します。</p>